

### Ⅲ. 教育部会報告 (部会長 渡邊 俊輔)

#### 1. Green Gift 地球元気プログラム「防災と環境 in 宮崎」を開催しました

開催日：平成30年5月20日(日)

宮崎海岸の浸食を防ぐ工事を見学して、ウミガメが産卵に上陸する砂浜や海岸の環境を確認し、国土の保全・住民の生活・生物の生息との調和を考えました。



大淀川河口部に移動して、津波や高潮の被害を防ぐ工事を見学し、災害の防止・住民の利用・干潟生物の生息との調和を考えました。

2会場では国土交通省に説明をいただき、また、宮崎野生動物研究会の串間先生を講師に迎え、バスでの移動中に、アカメの稚魚や干潟の生物についての説明を受け、水辺で生育する環境を見学しました。



交流会では、見学を通して何を感じたか、私達の安心安全がいろいろな公共事業で守られていることと、それらの工事が自然環境と自然環境と調和するように行われていることなどについて、みんなで意見交換をしました。



## 2. 宮崎市環境学習パートナー派遣事業「ふるさと発見！寺子屋」水辺調査を担当しました

開催日：平成30年7月31日

例年は、本庄川柳瀬橋下の大淀川との合流点で実施していましたが、当日は雨のため室内（西部地区農村環境改善センター）で実施しました。

- ・最初に、調査の方法を座学で学習した後、本庄川から汲んできた川の水で、透明度・におい・CODを調べました。
- ・違いを感じるために、ジュース・牛乳を1滴入れた水でCODを測定しました。
- ・夏休み期間だったので、水辺で安全に遊ぶ方法も講習しました。



## 3. カニさんたちのお引越し を開催しました

開催日：平成30年8月26日(日)

参加者：(子ども22名、大人16名)

大淀川河口に、津波・高潮対策事業の堤防建設中です。津谷原沼の干潟に生息しているカニさんたちを捕まえて、安全な場所に移すイベントを開催しました。





#### 4. タコノアシの保全活動を開催しました

開催日：平成31年1月26日(土)

寒風の中、天満橋下の大淀川河川敷で、競争種となる周辺のヨシやオギなどの刈払いや、柳の木を伐採して、大淀川に生息する宮崎県準絶滅危惧種「タコノアシ」の保全活動を行いました。予定では、カニや魚の生息地を確保することも計画していましたが、予想以上の寒さのため、参加者の体調を考慮してカニや魚の生息地確保は次回に延期しました。参加者の協力のおかげで、競争種となっている植物を取り除くことができました。タコノアシが春に向けて、たくさんの新芽を出してくれることと思います。また、春になったら計画します。

